



# 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月16日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹市 靖公

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成24年10月25日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	7,560	4.3	1,040	△7.0	1,053	△6.7	631	12.6
23年12月期第3四半期	7,251	12.4	1,119	34.5	1,129	34.1	561	21.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	190.52	—
23年12月期第3四半期	169.27	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年12月期第3四半期	7,608	—	6,128	—	80.6	—	1,848.88	
23年12月期	6,967	—	5,625	—	80.7	—	1,696.86	

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 6,128百万円 23年12月期 5,625百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年12月期	—	20.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	9.4	1,545	12.4	1,560	11.1	830	18.6	250.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	3,315,000 株	23年12月期	3,315,000 株
24年12月期3Q	53 株	23年12月期	24 株
24年12月期3Q	3,314,959 株	23年12月期3Q	3,314,998 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に緩やかな景気回復の兆しが見えてきたものの、欧州の債務問題、長期化する円高等の影響から、依然として景気動向は不透明な状況で推移しております。外食産業におきましても、先行き不透明感から消費者の防衛意識・節約志向が強く、経営環境は厳しい状況にあります。

当社では、このような環境の下、「お客様の立場で顧客創造」の企業理念に基づき、お客様の嗜好の変化に対応した「ご馳走レストラン」をテーマに食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの強化を図り、客数増と客単価増に取り組みました。

メニュー政策では、「価値+価格の追求」をテーマに1月にランチメニュー、4月にお子様メニュー、6月にグランドメニューの改訂を実施いたしました。ビーフ100%の「ステーキハンバーグランチ（税別580円）」等の導入により、ランチタイムの客数増を図り、ディナータイムでご家族連れでのご来店に繋がる手渡しチラシによる販促を行いました。6月のメニュー改訂では、「夏のステーキフェア」と題して、「プレミアムブロンコステーキ」と期間限定の「ジューシーワイルドリブブロースステーキ」を導入。人気メニューの「がんこハンバーグ」のトッピングも充実させました。

また、当第3四半期はステーキハウスとしての差別化を狙い、ステーキの商品開発に力を入れました。専門店としての仕入れと、自社工場の強みであるカット技術を生かし、タイムリーな期間限定メニューを強化することができました。8月の「ご馳走サーロインステーキ」、上場記念の「黒毛アンガスステーキ」、ランチタイム限定価格の「ぶどう牛サーロインステーキ」を導入できたことで、ステーキの注文率が前年同期比2.7%増となりました。これらの効果で、当第3四半期の売上高は、前年同期比9.7%増（客数の前年同期比7.8%増、客単価の前年同期比1.8%増）と客数増と客単価増を実現いたしました。

販促面では、お食事券が当たる人気のスクラッチカードや、お子様会員のキッズクラブでは毎月のお誕生日企画の他、夏休み期間にはご家族向けのDM販促により、再来店促進と顧客作りに継続して取り組みました。

店舗面では、7月と8月に3店舗を出店し、店舗数は70店舗（平成24年9月末）となりました。一方で、既存店3店舗の改装を7月に実施し、最大繁忙月である8月の売上増に寄与いたしました。改装店では、自社生産のアイスクリームバーを試験導入いたしました。

8月27日には、念願の東京証券取引所及び名古屋証券取引所市場第一部銘柄に指定をいただきました。今後、成長のための、好条件の出店物件や優秀な人材を確保する体制作りを進めてまいります。

以上の結果、売上高75億60百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益10億40百万円（同7.0%減）、経常利益10億53百万円（同6.7%減）、四半期純利益6億31百万円（同12.6%増）、1株当たり四半期純利益190.52円（同12.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は76億8百万円（前事業年度末69億67百万円）となり6億40百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が5億1百万円及び有形固定資産が1億33百万円増加したこと等によります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は14億79百万円（前事業年度末13億42百万円）となり1億36百万円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が1億19百万円増加したこと等によります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は61億28百万円（前事業年度末56億25百万円）となり5億3百万円増加し、自己資本比率は80.6%（前事業年度末は80.7%）となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により、利益剰余金が4億98百万円増加したこと等によります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年1月18日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,433	2,860,309
売掛金	57,312	60,483
商品及び製品	38,821	25,232
原材料及び貯蔵品	132,278	122,362
その他	160,037	181,212
流動資産合計	2,746,883	3,249,600
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,348,980	2,486,660
構築物（純額）	209,378	232,925
工具、器具及び備品（純額）	297,935	319,699
土地	276,207	276,207
その他（純額）	96,875	46,897
有形固定資産合計	3,229,377	3,362,390
無形固定資産		
投資その他の資産	90,077	89,163
差入保証金	579,854	574,259
その他	321,362	332,961
投資その他の資産合計	901,217	907,221
固定資産合計	4,220,671	4,358,775
資産合計	6,967,555	7,608,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	232,125	235,224
短期借入金	122,636	241,638
1年内返済予定の長期借入金	10,909	—
未払金	380,729	350,179
未払法人税等	249,502	203,901
賞与引当金	18,340	94,831
販売促進引当金	24,757	26,525
資産除去債務	4,695	—
その他	87,537	108,359
流動負債合計	1,131,233	1,260,660
固定負債		
資産除去債務	193,299	198,960
その他	17,962	19,830
固定負債合計	211,262	218,790
負債合計	1,342,495	1,479,450

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,112,384	4,611,357
自己株式	△51	△112
株主資本合計	5,629,008	6,127,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,948	1,004
評価・換算差額等合計	△3,948	1,004
純資産合計	5,625,059	6,128,925
負債純資産合計	6,967,555	7,608,375

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,251,037	7,560,979
売上原価	1,957,884	2,027,027
売上総利益	5,293,152	5,533,952
販売費及び一般管理費	4,173,893	4,493,522
営業利益	1,119,258	1,040,430
営業外収益		
受取利息	1,080	1,450
受取配当金	1,166	1,198
受取賃貸料	15,480	16,790
受取保険金	4,805	6,264
協賛金収入	6,251	9,289
その他	3,457	4,195
営業外収益合計	32,240	39,189
営業外費用		
支払利息	1,370	538
賃貸費用	14,481	16,636
盗難損失	3,270	4,939
その他	2,687	3,679
営業外費用合計	21,809	25,793
経常利益	1,129,690	1,053,826
特別利益		
固定資産売却益	—	1,000
災害保険金収入	—	89,101
特別利益合計	—	90,101
特別損失		
固定資産除売却損	5,658	2,161
減損損失	—	3,648
投資有価証券評価損	5,231	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	120,408	—
災害による損失	—	35,171
特別損失合計	131,297	40,981
税引前四半期純利益	998,392	1,102,946
法人税、住民税及び事業税	500,061	479,733
法人税等調整額	△62,788	△8,359
法人税等合計	437,273	471,374
四半期純利益	561,119	631,571



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。